

# ソフトクリームを味わいながらの旅 ごちゃごちゃ、モヤモヤがスツキリ

旅をしながら、ソフトクリームを食べるのが好きだ。そういう人は意外に多いらしい。この夏、私はいったい、いくつものソフトクリームを味わったことだろう。

夏に日本国内4ヶ所を旅した。まずは島根県。友人と2人で「青春18きっぷ」の安旅行を決行。島根の人は優しい。バスに乗り間違えると「運賃はいらないですよ。観光客の方はよく間違えちゃうんですよ」って、

どれだけ親切なんだろう。本当に良いかどうか分からないので、少しだけ払っておいた。

島根と言えば出雲大社。今年は特別参拝が許された建物があったというのに、整理券がもらえず断念。そこから15分ほど歩いて、日本海を見に行った。何という美しさ。言葉では形容し難いほどに、青々とした広い空間がどこまでも続いていた。日本海に足を浸して駆け回り、満足して終わった1泊2日の旅であった。ちなみに1日に3つもソフトクリー

ムを食べた。

次は、残りのきっぷを2泊3日の旅で使い切る、というのが新たなテーマとなって出かけた1人旅。行先は柏崎市・金沢市・松本市。日本海に魅せられた私は、再び見たいと思いついた。

翌日は金沢を観光。金沢城で昔の城の実用性をしっかり学んだり、兼六園では謎めいたキノコを写真に撮ったりした。正しい知識も得た。京都府発祥だと思われがちなあぶらとり紙だが、実は石川県で生まれたらしい。ひがし茶屋町という、京都を思わせる一帯で聞いた話である。

3日目の松本では松本城の天守閣へ登り、山々を眺める。高いところで感じる風が心地良い。市内にある時計博物館では、本当に大きな古時計をたくさん鑑賞した。変わり種博物館が最近特に気になる。

1人旅、2人旅、どちらもそれなりの良さがある。たまに1人になりた

いとき、私は1人旅に出る。今まで背負ってきたものをリセットしたくなり、旅先にごちゃごちゃした気持ちやもやもやを置いてこようとする。歩いているといつの間にか、そうい

う気持ちはなくなり、スツキリした感情を携えているようになる。旅は私を新鮮な私にしてくれる。人生に旅は必要だ。

(桃)

## 飛行機の整備場を社会科見学! 小学生に戻った気分で大はしゃぎ

今、「大人の社会科見学」なるものが流行っている。社会科

見学といえば、小学生の頃は毎年、近くのビール工場や古墳にクラス揃っていった記憶がある。近年は知識や経験を広げるために、社会人が自分の専門分野以外の見学を行なうことが多くなってきたのだ。

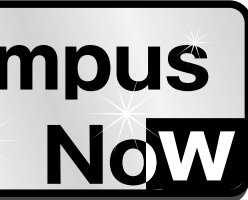
そんな時代の流れを汲んでか、私の所属するゼミで先日、ゼミ活動の一環として飛行機の整備場へと足を運んだ。ゼミは公共政策がテーマなので、特に航空工学を専門としているわけではないが、まさに見識を広めるために設けられた機会だった。

大学から空港までは2時間近くかかり、ゼミ生たちもはじめはあまり乗り気ではなかった。だが、

整備場ではみんな小学生に戻ったように大はしゃぎ。コレがなかなか面白かったのだ。

ろくに海外にも出たことがない私は、飛行機の「ひ」の字も知らなかったが、整備場では航空業界の今を、分かりやすく教えてくれた。部品がすべて出来上がってからの飛行機の組み立てにさらに5ヶ月かかること。ペイントされた飛行機に塗られている20色以上の色は、すべて人の手によって塗られていること。見るもの、聞くことすべてが新鮮で、知的好奇心が刺激された。

また、整備場で働く人々の、飛行機に関する語り口はいつも澁刺としていて、自分たちの仕事に誇りを持っていてと感じられた。就職活動を抑える身として、働くということ



は何かを教えられた気がした。

私にはまだまだ知らない世界があることを実感し、今度はどこへ社会科見学に行こうかなと考える日々で

ある。

(賢)

## 「青春18きっぷ」で一人旅楽しむ カラスと格闘、あわや電車に乗り遅れ

大 学生のうちにやっておきたいことがある。「夏のロックフェスに行く」「タイを観光する」「サバイバル生活」などなど。

たくさんありすぎて卒業までに全部できるか分からないが、今年の夏一つ成し遂げた。「青春18きっぷで北海道まで行く」を敢行したのだ。

目的地は札幌にある祖父母の家。5年ぶりに会う。「東京から札幌まで2日はかかる」と言われ、一時は断念したが、祖父母の「楽しみにしてるからね。待ってるよ」という言葉で札幌行きを決心した。

深夜、荷物でいっぱいのリュックを背負って家を出る。気分は旅人。夜行快速で新潟まで行き、そこから北海道までひたすら日本海側を北上してゆく。一人旅だったが、たくさんの思い出ができた。

初めて日本海を眺めた。ゼミ合宿とサークル合宿が終わったばかりで、

手持ちのお金がなく、ひたすら食費を削った。コンビニのおにぎりばかり食べた。青函トンネルを潜った。男前の駅員さんに出会った。

公園でおにぎりを食べていたら、カラスに襲われた。カラスと格闘していたら電車に乗り遅れそうになった。

こんなにも、旅を楽しめると思わなかった。来年の春休みも「青春18きっぷ」でどこか行きたい。鳥取砂丘を眺めに、鳥取にでも行こうか。

(福)



# 学生記者募集

## 1年生 & 2年生

あらゆるジャンルの取材現場へ。

マスコミに通用する取材力、

文章力を鍛えます。

中央大学入学センター内『Hakumonちゅうおう』編集室  
(編集担当：伊藤)

042-674-2146